

# 甲斐梅の里クロスカントリー大会

## クマ対策・安全管理マニュアル（2025 年度版）

### 1. はじめに

近年、人里で食べ物を得られるようになったことなどを理由に冬眠しないクマが増えていると報告されています。

本市においても、甲斐梅の里クロスカントリー大会コース上にある敷島総合公園付近において 10 月にクマの目撃情報がありました。そこで大会の開催にあたり、スタッフ及び参加者の安全を確保するための対応指針をまとめました。

### 2. 目的

- ・クマとの遭遇・被害を未然に防ぐ
- ・万が一の出没時に迅速・安全な対応を行う
- ・大会関係者・参加者の安全を確保する

### 3. 大会開催前の事前対策

#### (1) 情報収集

- ・開催地域のクマ目撃情報の収集
- ・地元猟友会との情報共有
- ・ドローンによるコース付近の監視

#### (2) 環境整理

- ・大会数週間前からコースの定期パトロール
- ・5・10 km コース沿いの雑草の刈り払い

#### 4. 大会当日の安全運営

##### (1) 音による警戒

- ・スピーカー付きの公用車（防災危機管理課）を使用し音（警鐘）を出しながら 10 km コースの一部（交通安全整理係 24～27 の間）を 10 時～11 時 30 分の間で巡回し音で人の存在を知らせる。

##### (2) スタッフ配置と連絡体制

- ・交通安全整理係 26・27 の人員を例年より一人ずつ増加し、クマよけスプレーを携行する。猟友会メンバーを一人ずつ配置する。ポータブルスピーカーをそれぞれに配置し音を出す。
- ・交通安全整理係 26・27 の間を猟友会メンバー 2 人に徒歩で巡回してもらう。
- ・クマ目撃時は即座に本部へ無線を入れる。→本部は警察へ通報

##### (3) 緊急時対応

- ・クマを目撃した場合は近づかず静かに距離を取る
- ・ランナーの安全確保（敷島総合公園運動場へ避難）
- ・担当スタッフが無線で本部へ連絡 → 本部は警察へ通報
- ・走行可否の判断

#### 5. 連携・通報体制

- ・警察署、自治体、猟友会、大会本部などの連絡先を一覧化。

## 6. 開催判断の基準

万が一大会コース周辺においてクマの目撃情報があった場合は、緊急で実行委員会を開き大会開催の可否について協議する。

(判断例)

- ・大会開催 1 週間前 (2/16～当日) の間にクマを目撃：全て中止
- ・年明けから大会開催 1 週間より前 (1/1～2/15) にクマを目撃：10 km エントリーを 5 km に短縮

※このマニュアルは令和 7 年 1 1 月 2 1 日時点に作成したものであり、その都度見直しを行うものとする。

# 第20回 甲斐梅の里クロスカントリー大会コース図

